

路面電車 復刻記念イベント

令和5年

11月12日[日]

午前10時から午後3時

[会場] 福島交通掛田駅

—当時の姿を残す掛田駅舎と共に—

プログラム

- 10:00～ イベント開場
- 10:15～ 路面電車テープカット
須田伊達市長らによるテープカット
- 11:00～ 路面電車語り部
安齋 武氏 (路面電車を偲ぶ会会長)
- 12:00～ 霊山太鼓演奏
- 13:00～ 路面電車語り部
安齋 武氏 (路面電車を偲ぶ会会長)
- 14:00～ 霊山太鼓演奏
- 15:00～ イベント終了



※無料駐車場には限りがありますので、当日は公共交通機関のご利用をお願い致します。

チンチン電車の歴史

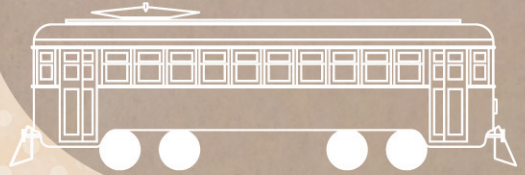
福島交通軌道線(愛称:チンチン電車)は昭和46年4月、全線が廃線となりました。

この電車のルーツは100年以上前にさかのぼります。1908年(明治41年)福島駅—長岡—湯野間でスタートした信達軌道は同年長岡—保原間開業、続いて、保原—梁川間、保原—掛田間、掛田—川俣間を開業し、1922年(大正11年には)保原—桑折間を開業し総延長53kmに及び軽便鉄道として最盛期を迎えました。

しかし、機関車の火の粉による鎌田火災をきっかけに、1925年(大正14年)福島電気鉄道と名称変更し電化を進め、1926年(大正15年)には路面電車(このころから、愛称チンチン電車)が走るようになりました。

電車が到着すると、たくさんの乗客や貨物が、まさに「吐き出され」その光景は地域の賑わい、輝きのシンボルでした。1962年(昭和37年)福島交通の誕生により福島交通軌道線と名前が変わります。しかし、狭い未舗装路に敷設された線路は、自動車輸送の急激な増加により徐々に片隅においやられ、路面の安全性から撤去の声が高まり、1971年(昭和46年)4月、全線が廃線されました。廃線後、福島交通株式会社より9台の路面電車が各地に寄贈されましたが、年月の中で次々と解体廃棄され、現存する車両は3台のみ。今まさにその1台「1115号」がふるさと伊達市で朽ち果てようとしていました。

この度、その車両を福島交通で回収し、修復作業を行いました。昨年度は、路面電車運行時の姿を今に残す掛田駅舎に路面電車ミュージアムも開設していますので、懐かしい当時の姿をお楽しみください。



よみがえれ、チンチン電車1115号

会場MAP

ステージ

路面電車

キッチンカー

缶バッジをつくろう!

スーパーボールすくい
輪投げ

水風船すくい

路面電車
ミュージアム

路線バス
待合室

当日は路線バス
回転のため
ご注意ください

マルシェ

駐輪場